



まずは、有名な「西新井大師」にお参り。勿論、初詣の時のような人出はないものの、安全祈願の車が境内に並んでいるのは珍しい。参道にある「草だんご屋」に皆興味を示して立ち寄る。

その後は、大師の末寺である「満願寺」をはじめ、帰りの駅「竹ノ塚」まで12の神社・仏閣を回った。「西新井大師」のおひざ元とはいえ、今回のコースでは、日蓮宗の「国土安穏寺」を除けば、寺はすべて真言宗であり、歴史をちょっと考えさせられた。



鷲神社では、宮司がわざわざ出てきて、神社の由来等を述べた後、彼のリードで童謡をみんなで歌ったのが印象的だった。帰りに全員が「開運御守」を貰う。



東北に向かう関東最後の地だからであろうか、八幡太郎源義家の創建した「六月八幡神社」や源頼義ゆかりの「竹塚神社」がある。これらに寄って奥州征伐の言葉を見た時は、北上出身のものには忸怩たる思いがあった。